

**Photosynth、  
「フィジカル AI 開発支援プログラム by AWS ジャパン」に採択**

～ 無人化・省人化産業を支える業務支援ロボットの開発を加速 ～

株式会社 Photosynth（東京都港区、代表取締役社長 河瀬航大、以下フォトシンス）が、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（以下「AWS ジャパン」）が提供する「フィジカル AI 開発支援プログラム」に採択されました。

フォトシンスでは、今回の AWS ジャパンのプログラムへの採択を受け、新たに参入したフィジカル AI 領域における研究開発をより一層加速するとともに、「人手に依存しない、自律型の物理空間で、社会を自由化する。」というビジョンを支える、無人化・省人化ソリューションのための業務支援ロボットなどの社会実装を目指します。



■ 「フィジカル AI 開発支援プログラム by AWS ジャパン」について

「フィジカル AI 開発支援プログラム by AWS ジャパン」は、AWS 上で Vision-Language-Action (VLA) をはじめとしたロボット基盤モデルなどを開発する、日本に法人または拠点を持つ企業・団体を支援するものです。データ収集・前処理からモデルトレーニング、シミュレーション、実環境へのデプロイまでの一連のパイプライン構築を支援し、AI のロボティクスへの活用を推進することを目指しており、フィジカル AI 領域スペシャリストによる技術支援、開発費用を支援する AWS クレジット提供、ロボティクス・生成 AI コミュニティ形成、Go-to-Market 支援を提供します。

「フィジカル AI 開発支援プログラム by AWS ジャパン」の詳細について：

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/aws-japan-physical-ai-development-support-program/>

## ■AWS ジャパンの支援を受け、フィジカル AI の開発と社会実装への取り組みをさらに加速

フォトシンスは、「人手に依存しない、自律型の物理空間で、社会を自由化する。」というビジョンを掲げ、事業活動を通じて少子高齢化に伴う人手不足などの社会課題の解決を目指し、あらゆる物理空間を無人化・省人化する「Akerun 入退室管理システム」や施設運営 BPaaS「Migakun」をはじめとした空間管理ソリューションを提供しています。

また、新たに開設したフィジカル AI のための研究開発拠点「Photosynth Physical AI Lab（フォトシンス・フィジカル AI・ラボ）」では、アプリケーションレイヤーにおける AI を中心とした開発から着手し、その後、ハードウェア～ソフトウェア～クラウド～製造までのフルスタックの開発基盤を活用した開発を順次進める計画です。そして、開発するフィジカル AI は、清掃、ビルメンテナンス、総務事務、警備、商品陳列、そして福祉・介護などを担う業務支援ロボットなどを想定し、研究開発だけでなく、社会実装までを見据えた取り組みを推進しています。

フォトシンスでは、今回の AWS ジャパンの「フィジカル AI 開発支援プログラム」への採択やフィジカル AI 関連の研究開発を通じて、少子高齢化に伴う人手不足という大きな社会課題を解決するための無人化・省人化ソリューションの開発を今後も加速します。

フォトシンスの「Photosynth Physical AI Lab」に関する詳細は、以下のプレスリリースもご参照ください。

<https://photosynth.co.jp/topics/physical-ai-lab>

### 【株式会社 Photosynth（フォトシンス）について】

「つながるモノづくりで感動体験を未来に組み込む」をミッションに掲げ、人手不足や労働力人口の減少などの社会課題の解決を目指して、既存のドアにスマートロックを後付け設置するだけで鍵をクラウド管理できる「Akerun 入退室管理システム」をはじめとした Akerun ブランドのオフィス／住宅向けのクラウド型 IoT サービスに加えて、様々な空間の管理運営の効率化を支援する施設運営 BPaaS サービス「Migakun（ミガクン）」や無人化・省人化に特化したクラウド型顧客管理・決済システム「fixU（フィックスユー）」を子会社を通じて提供しています。オフィスや商業施設などあらゆる物理空間における人手不足の解消や無人化／省人化を実現する様々なサービスにより、規模を問わないあらゆる業種、業態の企業の課題解決を支援します。

<https://photosynth.co.jp/>

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 Photosynth

広報

pr@photosynth.co.jp